

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 事業名
 416 健康診査事業（問診、血液検査、心電図等の検査）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		成人保健対策費
	大事業		成人保健対策事業
	事項		健康診査事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
取組	4	成人保健対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	永年	～
関連個別計画		
担当課・担当課長(Tel)	地域保健課	加藤智康(433-2261)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	特定健康診査の対象とならない者（被保護世帯等）に対して、生活習慣病等の疾病を早期に発見し早期治療につなげるとともに、健康診査の結果を踏まえた栄養指導、その他の保健指導を行なうことにより、疾病の発症及び重症化の予防並びに健康の増進を図る。また、肝炎対策の一環として肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自分の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を延滞させることを目的とする。	市医師会等に委託し、医療機関による個別検診の実施 ・和歌山市に居住地を有する年齢40歳以上で、生活保護受給者等に問診、身体計測、血圧測定、血液検査等を行う。 ・肝炎検査の実施・40・45・50・55・60歳の対象年齢の市民に無料受診券を送付し検診を実施する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		・特定健康診査の対象とならない者（被保護世帯等）に対して、問診、身体計測、血圧測定、血液検査等を行う。 ・年度始めから生活保護課のケースワーカーが、被保護世帯の訪問時に健診案内（がん検診も含む）のチラシを渡す。	・特定健康診査の対象とならない者（被保護世帯等）に対して、問診、身体計測、血圧測定、血液検査等を行う。 ・年度始めから生活保護課のケースワーカーが、被保護世帯の訪問時に健診案内（がん検診も含む）のチラシを渡す。	・特定健康診査の対象とならない者（被保護世帯等）に対して、問診、身体計測、血圧測定、血液検査等を行う。 ・年度始めから生活保護課のケースワーカーが、被保護世帯の訪問時に健診案内（がん検診も含む）のチラシを渡す。 肝炎検査の実施・40・45・50・55・60歳の対象年齢の人に無料受診券を送付 受診率 16.9%		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	6,103	2,549	6,065	3,577	8,107	35,171	50,054			
	伸び率(%)	-	-	-0.6%		33.7%		517.4%			-100.0%
	人件費	常勤職員	1,839	2,005	1,839	1,916	1,916	4,159	1,916		
		非常勤職員	537	537	537	149	149	726	149		
		小計	2,376	2,542	2,376	2,065	2,065	4,885	2,065		
	国庫支出金	1,266									
	県支出金	1,266	129	2,427	1,114	3,565	24,899	35,130			
	市債										
その他	9	9	9	9	9		9				
一般財源(税等)	3,562	2,411	3,629	2,454	4,538	10,272	14,924				
所要人数	常勤職員	0.24	0.26	0.24	0.25	0.25	0.55	0.25			
	非常勤職員	0.17	0.17	0.17	0.07	0.07	0.35	0.07			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	生保部分の受診者数	年度目標値							
		実績値			21	43	63		
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
	肝炎受診者数	年度目標値							
		実績値			17	407	4,751		
単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
成果指標	生保部分の受診率				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値								
	実績値			0.4	0.7	0.9			
	単位	%	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
	肝炎受診率	年度目標値					20	23	25
		実績値					17		
単位	%	全体目標値	25	全体目標達成度	%	年度別達成度			
						85.0%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	健康増進法に基づき実施する義務がある。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	